

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1

施設名

(所管課)

富山県花総合センター

農産食品課

2

施設所在地

砺波市高道 4 6 - 3

3

施設設置年度

昭和62

年度

4

設置目的

県民に花の栽培技術及び活用方法その他花に関する情報を総合的に提供し、もって県内における花の生産の拡大と県民の花に親しむ意識の高揚を図る。

5

施設概要

主な施設

・本館：鉄筋コンクリート 2 階建 775.4㎡

・展示温室：鉄骨造 2 階建 501.41㎡

・作業管理棟：鉄骨造平屋建 236.03㎡

・栽培温室：鉄骨造平屋建（4 棟） 453.6㎡

・モデル化花壇 10面 1,031㎡

6

指定管理者

公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団

7

指定期間

3

年

令和6年4月1日

～

令和9年3月31日

8

利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
98,000	98,000	103,500	115,700	101,200

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
1,128	1,132	1,160	1,157	2,320

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・全体として、6月～9月の酷暑により来園者数が昨年度と比較して減。
- ・しかしイベント開催時や園内の花の見頃に合わせて情報提供に努めたため、目標入園者数の10万人は超えたものの、令和6年度より約12ポイント減の101,200人となった。
- ・使用料等の収入については、鉢花の購入数量が増えたことにより令和6年度より増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・「匠から学ぶ」と冠したオープン講座(年8回)を実施。
- ・花まつり期間に、花苗の販売と生産者による寄せ植え体験を実施し、生産現場での苦労や手入れの工夫等を紹介し、生産者と消費者の交流の場を設けた。
- ・雨天時に落葉等によって園路が滑りやすくなることから、園路清掃を強化した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・花と緑に特化した講座を年30回、県民緑花オープン講座を年16回開催した他、「チューリップ四季彩館」と施設連携を実施し、講師の相互交流を図った。
- ・本館展示ホールにて特別展示や3回の花まつり、9回の季節ごとのテーマを設けた展示を実施。
- ・年間の催し物案内と花ごよみを記載したパンフレットを作成し、花まつりや季節展示について広くPRするとともに、HPで随時見頃の花やイベントの告知を行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：本館 1 階事務所横にアンケート用紙を設置した。
回答者数	151人
結果	「良かった」が89.4%、「まあまあ良かった」が8.6%と全体の約98%以上を占めた。
結果を踏まえた改善事項	・満足度が昨年度と比較してほぼ同様となっているため、来園者が花や緑から癒しや安らぎを感じられる環境づくりを心がけ、全体の満足度向上に努める。 ・来園者の 7 割強を占めるシニア層を意識し、安全な環境整備に努め、安心安全な施設運営を心がける。 ・来園の契機となるよう積極的な情報発信を実施する。

②その他利用者の声を反映させる取組み

ホームページの問い合わせメール

③主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

講座の受講者等の個人情報は厳重に管理している。

(6) 関係団体との連携

・「砺波チューリップ公園」、「チューリップ四季彩館」や「砺波市美術館」、「砺波市観光協会」、「道の駅砺波」等と連携し、パンフレット設置といった情報発信に積極的に取り組み、「園内ぐるり会」での情報交換を実施。
・「チューリップ四季彩館」が開催する「冬の庭(クリスマス)」に合わせて「クリスマス(シクラメン)」を「早春の庭」に合わせて「早春を彩る花まつり2026春の花木とチューリップ」を開催するなど引き続き連携を強化した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

警備保障会社への再委託により、防犯、火災、設備監視等を適切に実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	－
無	－

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・新規来園者が増加傾向となったことから、来園の契機となるよう報道関係者への情報提供やホームページの情報更新や掲載内容の充実を継続する。
・来園者が減少している酷暑期に展示ホールでの展示や、暑さを避けることができる研修室を使用した体験コーナー等を実施することによって来園者の増加を図っていく。
・高齢者や障がい者に安心・安全な環境づくりを通して、富山県民が快適に花や緑を楽しむ、癒しや安らぎを感じられるよう努めることで、来園者の満足度を高める取り組みを強化する。